

フィッション・トラックニュースレター10号発刊に寄せて

地質調査所地殻化学部 角井朝昭

フィッション・トラックニュースレター (FTNL) 第10号が、ようやく刊行できました。当初の予定より、約2カ月ほど出版が遅れたことをお詫びします。

今号の編集は、以下のように行いました。

1. 論説3編については、複数の査読者による査読を行いました。査読担当者は

「檀原他」論文：松田高明・角井朝昭

「岩野・檀原」論文：松田高明・渡辺一郎

「姫野他」論文：山田隆二・角井朝昭 でした。

査読をお引受けいただいた方々に改めてお礼申し上げます。

2. 講演要旨は、96年12月の研究会で発表された研究発表のうち、要旨掲載を希望した発表者のものを掲載しました。原稿は編集委員会で通読し、ミスタイプや不適切な箇所等は著者に戻して修正していただきました。また、各要旨をできるだけ2ページあるいは4ページちょうどに納めようとしたために、フォントの大きさやレイアウトの仕方などに、やや統一性を欠く場合があります。

3. 編集委員会より、吉岡さんにフリーソフトウェアの紹介記事、田上会長に国際ワークショップ報告を依頼いたしました。本誌は「フィッション・トラックに関連する幅広い分野」を掲載対象としております。技術ノート、巡検報告や、実験室紹介などの掲載も増やしたいと思っています。

さて、今号よりの変更点につきまして、会員の皆様のご了解をいただく点が数点あります。

今号より、版型をB5からA4に変更いたしました。この数年、B5からA4に版型を変更する雑誌が多くなったということも考慮したのですが、主な理由は編集作業の都合によるものです。事務書類などをA4に統一しようというのが、この数年来の世間一般の傾向であり、パソコンの周辺機器等もA4版対応のものが多く、版下を作成する作業もB5よりはいろいろと好都合なのです。

また、投稿規定を改正しました。改正点は主に、投稿原稿のスタイルに関するものです。どのような形式(ファイル形式も含めて)で投稿原稿を受け取ると、最終的な印刷までの作業が速やかにいくかは、編集担当者の作業環境により、かなり異なります。また、年ごとにパソコン等の利便さも向上しており、それに対応したやり方も変わっていくはずで、そこで、投稿原稿のスタイルの細部までは規定として固定せず、それらは各号の編集開始時に編集担当者の事情に合わせて設定し、原稿募集時に会員の皆様に編集担当者より連絡することとします。次号以降に御投稿される方は、おそれいりますが編集担当者にお問い合わせの上、投稿原稿を作成していただきますよう御願います。